

第67回

SPORT CLUB RENAISSANCE



●事業内容

フィットネスクラブ、スイミングスクール、テニススクール、ゴルフスクール等のスポーツクラブ事業及びその関連事業

●RENAISSANCE VIETNAM, INC.

HQ: R.A10, 16Fl, Becamex Tower, 230 Binh Duong, Phu Hoa ward, Thu Dau Mot city, Binh Duong province
Hanoi branch: Room 401, Han Viet building, 348 Kim Nguu st., Hai Ba Trung Dist., Hanoi

●日本本社

東京都墨田区両国 2-10-14 両国シティコア 3F

●ホームページ

<http://www.s-re.jp/>(日本)

<https://rns.com.vn/>(ベトナム)

ーベトナム進出の経緯を教えてください。日本のフィットネス業界は成熟期であり、人口減少や少子高齢化などの影響で、将来を見据えて海外へ活路を見出す必要性を感じており、2011年にベトナムやインドネシア、タイ、マレーシア、シンガポールなどを訪れ、市場調査を行いました。調査の中で、ベトナムの水難事故について調べると溺れて亡くなるケースが非常に多く、深刻化している現状を知りました。このような事故を少しでも減らす事ができないかと考え、日本で長年培われてきたスイミング指導のノウハウを活かし、スイミングをベトナムに普及させるために、2013年1月、ベトナムのフィットネスクラブ最大手である現地ローカルFitness運営会社との合弁会社「RENAISSANCE OLYMPIA Co.,Ltd」を設立し、子供を対象とした「ジュニアスイミング」を開講しました。2013年の夏休みに5歳から14歳を対象にした短期集中のジュニアスイミングを実施したところ、費用が15日間で390万ドン(約21,450円。10,000VND=55円)と、比較的高額であったにもかかわらず、予想以上に参加者が多く、約500人もの子供達が参加することになりました。また、ベトナム政府機関の一つである「ベトナムアクアスポーツ協会(以下、VASA)」へプレゼンテーションをする機会に恵まれ、日本で長年培ってきた

水泳指導方法や日本人選手の国際大会での実績などを紹介することができ、ベトナムでの水泳の普及・発展に関する基本合意書を締結することもできました。

そんな中、「イオンモール ビンズオンキャナリー」でフィットネスクラブを出店してみようかといったお話を頂く機会があり、フィットネスクラブを手掛ける日本の企業としてはベトナム初となる、日系100%独資の「RENAISSANCE VIETNAM, INC.」を設立し、「イオンモール ビンズオンキャナリー」内にフィットネスクラブを開業しました。さらにその後、ハノイの「イオンモール ロンビエン」に屋内スイミングプール付の大型フィットネスクラブを出店することが決まり、現在に至っております。

ー業務内容を教えてください。

ベトナムでのルネサンスの主な事業はフィットネスクラブ、ジュニアスイミングの運営、水泳指導、ベトナム人トップスイマーの育成などとなっています。

メインとなる会員制フィットネスクラブの運営の他、今後注力していく事業としてスイミング事業があります。日本と同様のレッスンカリキュラムを導入し、子供達を中心にスイミング事業を展開していく予定です。スイミングを通じ、多くの子供達に水泳の楽しさを

伝えると共に、「自主性」、「協調性」、「社会性」といった子供に必要な啓蒙も行っていきたいと考えています。また、VASAとの合意書の一つに、「ベトナム人トップスイマーの育成」を掲げており、現在ベトナム人トップスイマーであるホアン・フォック選手を日本に受け入れ、指導を行っています。

ー「イオンモール ロンビエン」のフィットネスクラブについて教えてください。

施設の大きさは、日本を含め、我々が保有する施設の中でも最大規模となっており、1階にはプール、お風呂、サウナ、水風呂、ロッカールーム、2階には開放感のあるトレーニングジムエリア、スタジオなどが設置されています。トレーニングマシンは、世界トップブランドであるライフフィットネス社製の最新式のマシンを取り揃えました。

実は、自社の「施設開発部門」は建築事務所としても活動しており、日本でも数多くのフィットネスクラブ建設の実績があります。この施設開発部の建設に関するノウハウと厳格な安全基準を今回の施設にも適用しており、ベトナム国内は勿論、世界でもトップクラスのフィットネスクラブとなっています。特にこだわって作ったのがスイミングプールです。そこでは特に子供達を対象としたジュニアスイミングを行う予定ですが、ベトナム



お風呂



トレーニングマシン



スイミングプール

の親御さんは、子供をスイミングに通わせる際に懸念されている点として、「水が汚い」、「溺れる」ということを気にしています。プールの水については、高性能な濾過循環装置を日本から直接持ってきましたし、安全面については、日本で長年培われたノウハウを十分に活かした設計としました。また、子供専用のロッカールームを設置している点や冬でも暖かい廊下、暖かいシャワー等、日本ならではのきめ細やかな配慮がされています。なお、施設の1階には、お風呂、水風呂、サウナなどの日本では一般的な温浴施設のスタイルを導入しています。日本では人気のある「お風呂」ですが、ベトナムでは暑いお湯の風呂に入るという文化がありません。これがベトナム人の方々はどう評価されるのか楽しみであり、今後の展開を占う上で注目しています。

フィットネススクラブの利用料は、日本円で月額平均6,000~7,000円程度を予定しており、競合他社さんと比べてもそれ程高い設定にはしていません。

ベトナムのスイミングの現状とルネサンスのスイミングについて

ベトナムは国策としてスイミング技術の習得を進めており、小学校に在籍している間に25mを泳げるよう促していますが、施設不足、指導者不足により、水泳の授業は小学校で浸透しておらず泳げる子供は日本に比べると少ない現状です。

我々が行うスイミングでは、子供の年齢別特性や、水泳の上達レベルに合わせて生徒を階級毎に分けて指導し進級させるといった日本で長年培われたレッスンカリキュラムをそのままベトナムへ導入しようと考えています。費用は日本円で月額平均6,000円程度を予定しています。

スイミングの良い点は何でしょうか。

スイミングは、0歳から100歳まで幅広い世代で楽しめる唯一のスポーツです。また、浮力により体への負担が他のスポーツよりも軽いため、成長期の子供の関節や骨に大きな負担を与えることなく体を鍛えられるという点が大きなメリットです。

ベトナム人の子供達は、学校の勉強、学校が終わってからの勉強、英会話などにより、運動不足が大きな課題となっています。また、国策としてベトナム人の身体能力と身長を伸ばす計画が定められており、スイミングは比較的有效なスポーツとして認知されています。

ベトナムで苦労されたことは何かありますか？

実は、海外展開はベトナムが初めてであり、当然、ベトナム語を話すスタッフは社内にはいませんでしたし、英語を話す人もごく僅かし

かいませんでした。言葉の壁や習慣、文化の違いで苦労は絶えませんが、特にスイミングを担当する人材の確保には苦労しました。なぜなら、スイミング指導をする人は、最低でも自分自身が泳げなければいけません。ベトナム人は泳げる人が想像以上に少なく、約100名の応募の中で条件をクリアできたのは僅か6名だけという状況で人材集めには非常に苦労しました。

ベトナム人社員について。

現在、ベトナム国内に約50名(北部約30名、南部約20名)の社員がいます。日本人は出張ベースで、南部に3名、北部に8名が各セクションごとに配置されています。日本人が比較的多い理由は、我々の業種は、スイミング、ウエイトトレーニング、ヨガ、受付や施設案内など、それぞれのセクションで業務や指導方法が異なる事と、近い将来、ベトナム人だけで運営してほしいため、現在は集中的に日本人が来越し、ベトナム人への指導を行っています。

長く勤めている人が多いようですが、何か工夫されていますか？

我々は、ベトナムでのビジョンとして、「ベトナム人の方々にもっと健康になってほしい」、「ベトナム人トレーナー・インストラクターの地位向上と、職業として確立させる」を掲げていることで、社員一人一人が目的を持って働いているからではないかと思えます。また、教育に力を入れている事で社員が成長を感じ取ることができるため、モチベーションが高いのではないかと感じています。

オープン前の社員教育はどうされていますか？

セールスレセプション、フィットネストレーナー、スイミングコーチの3セクションに分けて教育をしています。基本的にサービスマインドについては、全員共通で日本と同じレベルの教育を実施しています。その上で、セールスレセプションについては、南部のビンズオン1号店にてOJTを行うと共に、どのよう

接客、説明、言葉使い、施設案内をするとお客様に喜んでもらえるのかといった事を日本から専門のスタッフを派遣し教育を行っています。フィットネスについては、「MOSSA」という米国のクラブビジネスソリューションツールを導入し、日本から、プロのインストラクターを3名派遣し、研修を実施しています。さらに、日本の教育部門の責任者だったスタッフも来越し、指導に当たっています。スイミングについては、ベトナムには今まで無かったことですので、まずはスタッフ自身が泳げないと話になりませんので、スイミング練習からさせています。同時に指導の理論や安全性を担保するにはどんな立ち振る舞いをしなければならないのかなどを教育し、その中で優秀だったスタッフには、10月上旬から日本のルネサンスのフィットネスクラブにてOJTを行う予定となっています。

日本でもそうですが、オープン前の教育が終わった後は、社員を育てて頂くのは「お客様」です。毎日多くのお客様と接し、お客様からの声を大事に聞き、それを活かしていくことが重要だと考えています。

今後の展開について。

今は、10月28日(水)にオープンする2号店の準備と1号店の運営に集中し、実績を積み、結果を残していく事が重要だと考えています。

中長期的には、ベトナムでインストラクターを育て、それを職業としてベトナムに確立させたいと思います。日本では既に多くの方が、プロのインストラクターを職業にしていますが、ベトナムではスポーツが好きだからという程度の知識で指導している方が散見されます。我々は日本で長年培ってきた指導者としての知識・技術・ノウハウをしっかり教育して、プロのインストラクターを育てたいと思います。そして、インストラクターという地位を確立させ、その受け皿となる施設も拡充していきたいと考えています。

ありがとうございました。

